



(社)日本塗料工業会登録
<http://www.toryo.or.jp/>

登録番号 S08035

放散等級区分表示 F☆☆☆☆

鋼構造物用上塗り塗料
高耐候性厚膜形アクリルシリコン樹脂塗料

セラボーンHB





人と環境にやさしい関係

特長

「セラボーンHB」 高耐候性厚膜形アクリルシリコン樹脂塗料

鉄構造物防食・美装用として、高品質・低価格を実現させた画期的な高耐候性厚膜形塗料です。

1. 高耐候性

「セラボーンHB」は、無機特有の耐候性に優れたシロキサン結合を形成するアクリルシリコン樹脂と高耐候性顔料を配合し、特殊な架橋技術により高耐候性塗料を完成しました。
光沢の保持が非常に長く、変色も非常に少ない塗料です。

2. 鉛、クロムフリー

「セラボーンHB」は、鉛やクロムを使用していない環境にやさしい塗料です。

3. LCC (ライフサイクルコスト) 低減に最適

「セラボーンHB」は、新設・塗替えともに適切な下塗り塗料との組み合わせで長期にわたる耐久性が得られます。

4. 厚膜・省工程で工期の短縮化が可能

「セラボーンHB」は、1回の塗装で乾燥膜厚が50 μ m可能で、厚膜形下塗り塗料(ネオゴーセープライマーHBやセラボーンMP等)と組み合わせることで省工程仕様が可能であり工期短縮にも有効です。

5. 優れた作業性

「セラボーンHB」は、はけ塗り、ローラー塗り、エアレススプレー塗りのいずれも優れた作業性と美しい仕上がり外観が得られます。

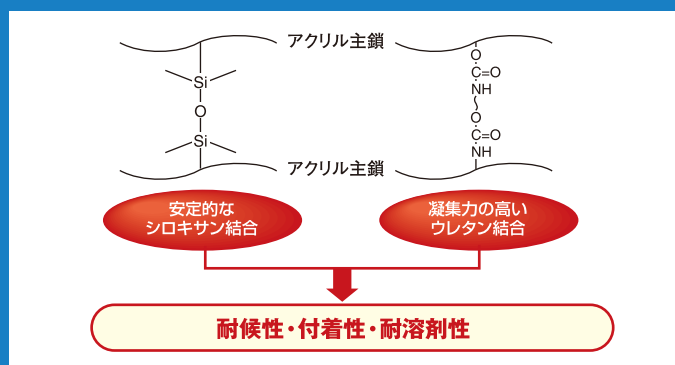




硬化機構

セラボーンHBは大気中の湿気と反応し、無機特有の耐候性に優れたシロキサン結合により架橋（硬化）します。

また、高耐候性ウレタンの補助架橋の導入により特に厚膜塗装の場合でも、四季を通じ安定した性能を発揮します。



高耐候性

ふっ素樹脂塗料に準ずる耐候性を発揮します。

図-1 サンシャインカーボンアーク灯式耐候性試験機

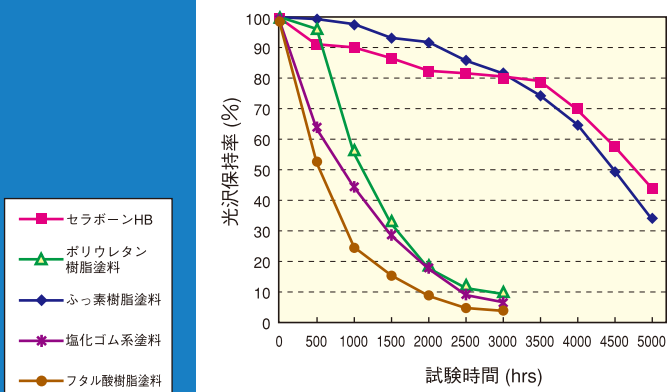
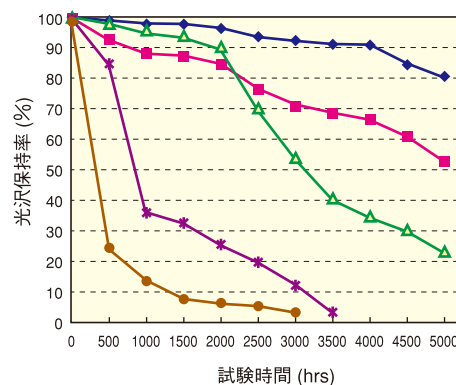


図-2 キセノンアーク灯式耐候性試験機



人と環境に優しい

鉛・クロムなどの有害な重金属化合物を含みません。





省工程高防食システム

「セラボーンHB」は下塗りの「セラボーンMP」(厚膜形変性エポキシ樹脂塗料)と組み合わせ2~3回塗りにより、従来の4~5工程塗りと同等以上の防食性を発揮します。

● 塩水噴霧試験2000時間 (発錆面へ3種ケレン後に塗装)



「セラボーンMP」
+「セラボーンHB」



ウレタンシステム
(4回塗り)



塩化ゴムシステム
(5回塗り)



合調ペイントシステム
(4回塗り)

● 複合サイクル試験360サイクル (発錆面へ3種ケレン後に塗装)



「セラボーンMP」
+「セラボーンHB」



ウレタンシステム
(4回塗り)



塩化ゴムシステム
(5回塗り)



合調ペイントシステム
(4回塗り)

塗装仕様例

「セラボーンHB」は「セラボーンMP」(厚膜形変性エポキシ樹脂塗料)との組み合わせ(2~3回塗り)により、従来の4~5工程塗りと同等以上の防食性を発揮します。



● 新設-1 (省工程)

工程	塗料名	膜厚(μm)	塗装法	専用シナー(希釈率)	使用量(g/m ²)	塗重ね間隔(20℃)	施工場所
素地調整	ISO Sa2 1/2(1種ケレン相当) ブラスト処理によりさび、黒皮、異物を除去する					4時間以内	工場
下塗	ネオゴースプライマーHB	120	エアレス	5~15	410	1日~12ヶ月	工場
上塗	セラボーンHB	50	はけ・ローラー	10~15	170	-	現地

● 新設-2 (LCC低減)

工程	塗料名	膜厚(μm)	塗装法	専用シナー(希釈率)	使用量(g/m ²)	塗重ね間隔(20℃)	施工場所
素地調整	ISO Sa2 1/2(1種ケレン相当) ブラスト処理によりさび、黒皮、異物を除去する					4時間以内	工場
下塗	ジンクプライマーHB	75	エアレス	3~10	600	1日~6ヶ月	工場
中塗	ネオゴースプライマーHB	60	エアレス	5~15	210	1日~12ヶ月	工場
上塗	セラボーンHB	50	はけ・ローラー	10~15	170	-	現地

● 塗替え

工程	塗料名	膜厚(μm)	塗装法	専用シナー(希釈率)	使用量(g/m ²)	塗重ね間隔(20℃)	施工場所
素地調整	2~3種ケレン パワーツール処理によりさび、劣化塗膜を除去する(ただし活膜は目粗しすること)					4時間以内	現地
下塗	セラボーンMP	100	はけ・ローラー	5~10	300	1日~15日	
上塗	セラボーンHB	50	はけ・ローラー	10~15	170	-	

セラボーンMPの代わりに、下塗・中塗はさびコート、ネオゴース #2300NT-HB、あるいはタフグリップNを適用することもできます。

[特記事項]

- 発錆の著しい箇所、エッジ、溶接部、ボルト部など、膜厚が付きにくい箇所は、先行増し塗りをしてください。特に、小径パイプや型鋼(C.H.L)は薄くなりがちなので、先行増し塗りが必要です。
- 施工中の膜厚管理として、ウェットゲージで要所をチェックしながら塗装してください。
- 上記使用量は標準的なものです。被塗物の形状、表面状態、風などにより異なります。

塗料データシート ▶ セラボーンHB

塗装案内	密度	1.4g/mL(混合物)			
	加熱残分	71Wt%			
	タレ限界膜厚	WET175μm・DRY80μm(10%希釈)			
	貯蔵安定性	主剤 12ヶ月 硬化剤 12ヶ月			
	W E T / D R Y 比	0%=1.8 10%=2.1 15%=2.3 (%は希釈率)			
	標準塗膜	エアレス	50μm 標準使用量 210g/m ² *1		
		はけ	50μm 標準使用量 170g/m ² *1		
	適正塗装法	エアレススプレー・はけ・ローラー			
	塗装環境	温度	MIN 0℃ MAX 40℃(被塗装面の温度:MAX 50℃)		
		湿度	85%以下		
	塗装方法	エアレススプレーの例	圧縮比 30:1以上 二次圧 12~15MPa	チップサイズ(グラコ) 513・515相当	適正粘度 10~15dPa・s(リオン粘度計)
	温度	セラボーン上塗用シナー			
	使用シナー	5℃	10℃	20℃	30℃
	使用可能時間	10時間	8時間	7時間	5時間
	乾燥時間	指触	30分	30分	30分
歩行可能		2日	2日	1日	
完全硬化		14日	10日	7日	
塗重ね間隔	M I N	1日	1日	1日	
	M A X	14日	10日	7日	
適正希釈率	エアレス	10~15%	10~15%	10~15%	
	はけ	10~15%	10~15%	10~15%	
	ローラー	10~15%	10~15%	10~15%	
安全衛生	有機則区分	主剤 2種		硬化剤 シンナー 2種	
	危険物分類	4類 2石・Ⅲ		4類 1石・Ⅱ	

*1 被塗物の形状・表面状態により使用量は若干異なります。

セラボーンの商品構成

セラボーンHB

荷 姿		色 相	シンナー
16kgセット	主 剤： 14.4kg	白、各色	セラボーン 上塗りシンナー 16L、4L
	硬化剤： 1.6kg		
4kgセット	主 剤： 3.6kg		
	硬化剤： 0.4kg		

《ご使用上の注意事項》

■現場塗装の一般的禁止事項

1. 気温5℃以下のときは塗装を避けてください。気温が低くなりますと乾燥が非常に悪くなります。また、塗料の粘度が高くなりシンナーを多く添加するため、塗膜が薄くなり、仕上がりに悪影響を与えることになります。低温時に塗装する場合は人工的な加温対策が必要です。(気温15～30℃の範囲が良好です。)
2. 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって塗膜の付着が悪くなり、艶びけ、白化現象が生じます。(40～70%RHが良好です)
3. 被塗面に結露があるときは塗装をしないでください。(特に早朝の結露、夕刻の降露には注意してください。)
4. 塗装後2時間以内に降雨、降雪が予想される場合は塗装をしないでください。
5. 強風、砂ほこりが多いときは塗装をしないでください。砂塵、海塩粒子などが塗装中、乾燥後に付着すると塗膜性能低下、仕上がりが不良となります。
6. 炎天下で鋼材が焼けているときは塗装をしないでください。鉄面の温度が高いときは塗膜が発泡する恐れがあります。
7. 使用前に電動攪拌機等を用いて均一にかき混ぜてから使用してください。
8. 塗装時および塗料取り扱い時は換気を十分に行い、火気厳禁としてください。
9. 希釈は弊社製専用シンナーを使用してください。うすめ過ぎるとツヤ引けやカブリ不良をおこすことがあります。
10. 素地の乾燥は十分に行ってください。
11. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。うすめすぎは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こりますので、注意してください。
12. 汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
13. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗分量、表面肌が異なるため若干の色相差が出ますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
14. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は、必ず換気を行ってください。また外部での塗装においても、換気口、空気取入口等に養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。

■塗料の一般的取り扱い注意事項

1. 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対にしないでください。
2. 塗料は使用する前に電動攪拌機を用い、缶の四隅まで十分にかき混ぜ均一な状態にしてください。特にさび止めペイントは比重の関係で顔料が沈降しやすいので十分にかき混ぜてください。多液形塗料の場合は、混合比に十分注意し、所定の割合で混合し均一になるまで十分にかき混ぜてください。また、小出しする場合は、必ずはかりを用い、正しい混合比で計量混合してください。
3. 希釈率、塗り重ね時間などは、規定の数値を厳守してください。
4. 開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用していただくのが望ましい。
5. さげ缶に小分けするときは、十分にかき混ぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使ってください。
6. 残った塗料は常にフタをするよう心がけてください。
7. 塗料、シンナーの保管は、承認を受けた危険物倉庫に貯蔵・管理することが必要です。
8. 塗装時および塗料取り扱い時は換気を十分に行い、蒸気、ガス等を吸い込まないようにしてください。
9. 塗装時および塗料取り扱い時は火気厳禁としてください。
10. 取り扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、ずきん、保護メガネ、保護手袋などの保護具を着用してください。
11. 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
12. 子供の手の届かない冷暗所に保管してください。
13. 容器はつり上げないでください。
14. 本来の用途以外に使用しないでください。

■緊急時および応急処置

1. 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
2. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 誤って飲み込んだときには、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
6. 容器からこぼれたときには、布でふき取ってその布を水をはった容器に保管してください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
※ご不明な点につきましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199	北 陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315	四 国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108
東 北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813	名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318	九 州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
東 京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553	大 阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268	
静 岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091	中 国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821	https://www.shintopaint.co.jp/

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。